

# TOKAI

東海防衛だより

2022  
令和4年

冬



愛知県政150周年記念・ブルーインパルス展示飛行 演目レベル・サンライズ（名古屋城上空）

（写真提供：愛知県）

## 冬号の主な内容

◆ 令和4年版防衛白書(日本の防衛)

◆ 自衛隊の記念行事と航空祭

(陸自)豊川駐屯地／第10師団／明野駐屯地及び航空学校 (空自)岐阜基地

◆ 周辺対策事業の紹介(各務原市大伊木・大牧地区学習等供用施設)

◆ 愛三岐のまちから(玉城町)

◆ 東海三県の防衛生産・技術基盤(豊和工業株式会社)

◆ 防衛省職員採用業務の紹介





# 令和4年版防衛白書（日本の防衛）

## 防衛白書の概要

令和4年版防衛白書は、ロシアによるウクライナ侵略や米中を中心とした戦略的競争の一層の顕在化など、わが国が直面する安全保障上の課題について解説するとともに、このような厳しい安全保障環境下での防衛省・自衛隊の防衛力強化のための取組について紹介しています。

表紙のデザインにはAIアートを採用しています。AI（人工知能）などの技術が安全保障のあり方を変える時代において、こうした先端技術も活用し、日本を守り抜いていくという決意を表現しています。



こちらのQRコードまたは防衛省ホームページからご覧いただけます。

また、取り外せる別冊のみでも、わが国が直面する課題とこれに対する防衛省・自衛隊の取組を簡潔にご理解いただけるよう工夫を凝らしています。

### 【巻頭特集・FOCUS】

直面する安全保障上の課題、ますます重要となる「抑止力」について、写真や図なども多用し、ご紹介しています。

- FOCUS 1 直面する安全保障上の課題
- FOCUS 2 平和を生む「抑止力」
- FOCUS 3 新たな領域や分野における取組
- FOCUS 4 望ましい安全保障環境の創出

### 【ダイジェスト】

本文の抜粋ではなく、各章の要点を短くまとめたものとして

**FOCUS 3 新たな領域や分野における取組**

**宇宙領域における取組**

宇宙領域専門部隊の強化、JAXA・米軍などとの連携強化、衛星コンステレーションに関する取組の推進などにより、宇宙領域における能力を抜本的に強化しています。

**電磁波領域における取組**

平素から電磁波収集・分析を実施し、有事においては、相手の電磁波利用を無力化する上で各種作戦を徹底に進める体制を構築しています。

**サイバー領域における取組**

専門部隊の強化、実証的な演習への参加、防衛力の養成などによりサイバー防衛能力を本格的に強化しています。

**先端技術分野での取組**

防衛省は、先端技術における優位性を確保し、新たな取り組み方につなげていくための様々な取組を進めています。

〈画像：令和4年版防衛白書より転載〉

**IV 防衛力を構成する中心的な要素など**

**訓練・演習に関する取組**

抑止力・対峙力強化のための訓練

**人的基盤・知的基盤の強化**

自衛隊員は防衛力の中核（人的基盤の強化）

未来の防衛政策の力に（知的基盤の強化）

**衛生機能の強化**

自衛隊員の生命を最大限守るために



## 地方公共団体などへの説明

東海防衛支局では、管轄区域内の地方公共団体の長などに対し、防衛省・自衛隊の各種施策の基本的事項などについて説明を行い、可能な限り防衛省・自衛隊の施策に対する問題意識や要望などの把握に努め、地方公共団体などの幅広い理解を得られるよう、防衛省・自衛隊と地方公共団体などの連携強化を図っています。

10月には愛知県知事と岐阜県知事、11月には三重県知事に対して宮原支局長からそれぞれ防衛白書の説明を行いました。

また、管轄区域内の地方公共団体などへ説明・配布を行っており、本年度も、地方協力本部が実施するものをあわせ、すべての地方公共団体に防衛白書の説明・配布を行いました。

防衛白書は一般の書店でも販売しているほか防衛省のホームページにも電子版を掲載しています。

なお、防衛白書は難しそうだなと感じる人向けに「はじめての防衛白書」第2版もホームページにあわせて掲載していますので、ぜひご覧ください。



愛知県 大村知事（写真右）



岐阜県 古田知事（写真左）



三重県 一見知事（写真右）

## はじめての防衛白書 第2版

～まるわかり！日本の防衛～



こちらのQRコードまたは防衛省ホームページからご覧いただけます。





## 自衛隊の記念行事と航空祭

(陸自) 豊川駐屯地創立72周年記念行事／第10師団創立60周年記念行事／明野駐屯地開設67周年及び航空学校創立70周年記念行事 (空自) 岐阜基地航空祭2022

令和4年10月15日に「豊川駐屯地創立72周年記念行事」(愛知県豊川市)、11月13日に「第10師団創立60周年記念行事」(愛知県名古屋守山区)、「明野駐屯地開設67周年及び航空学校創立70周年記念行事」(三重県伊勢市)と「岐阜基地航空祭2022」(岐阜県各務原市)が開催されました。記念行事と航空祭では、趣向を凝らした地上展示や訓練展示、飛行展示などが行われ、来場された方々に楽しんでいただきました。

### 【豊川駐屯地創立72周年記念行事】



### 【第10師団創立60周年記念行事】



(写真提供：第10師団)

(写真提供：第10師団)

### 【明野駐屯地開設67周年及び航空学校創立70周年記念行事】



(写真提供：明野駐屯地)

(写真提供：明野駐屯地)

### 【岐阜基地航空祭2022】



(写真提供：岐阜基地)

(写真提供：岐阜基地)

東海防衛支局では「豊川駐屯地創立72周年記念行事」と「岐阜基地航空祭2022」に参加し、政策広報を行い、令和4年版防衛白書の要点をまとめたパネル展示を行うとともに、支局広報誌「東海防衛だより」や「はじめての防衛白書」第2版のリーフレットなどを配布しました。



岐阜基地

豊川駐屯地

【支局ブース(パネル展示)】



# 大伊木・大牧地区学習等供用施設 (民生安定施設整備事業(防音助成))

岐阜飛行場  
周辺

防衛施設周辺民生安定施設整備事業とは、自衛隊などの行為・防衛施設の設置や運用により生ずる障害を緩和するため、地方公共団体などが行う施設の整備などに対して行う補助事業です。



外部改修：入口のスロープ設置、塗装塗り替え

防衛省では、飛行場などにおける自衛隊などの航空機による離着陸などの実施により生ずる音響による障害の緩和に資するため、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条に基づき、民生安定施設整備事業（防音助成）として、地方公共団体が必要な施設の整備を実施するときに、その費用の一部を補助しています。

各務原市大伊木・大牧地区学習等供用施設（各務原市大伊木町ふれあいセンター）は、平成8年度に民生安定施設整備事業（防音助成）により建設しましたが、竣工後25年が経過し、施設や空調機器の老朽化が著しくなったことから、令和3～4年度にかけ総事業費約1億円、補助額約5千2百万円の交付を行い、改修工事を実施し、令和4年6月に完成しました。



空調設備、照明器具取り替え後の集会室（工事後）



空調設備、照明器具取り替え前の集会室（工事前）

改修後は、空調設備機器・照明器具の取り替え、入口のスロープ設置、階段の手すり設置、床の張り替えやトイレ便器の取り替えなど、高齢者や障害者の方の利用に配慮した施設に生まれ変わり、地域の皆さまの社会活動の場として利用されています。

## 利用者の声

今回の改修工事で、冷暖房機器の取り替えを行い、加湿機能が追加され、冬場の環境に配慮していただきました。

床の張り替えによりきれいになり、照明器具も取り替えられ、部屋が2倍明るくなったように感じ、夜間の活動がしやすくなりました。

また、トイレは洋式便器となり、高齢者も気軽に利用できるようになりました。



「愛三岐のまちから」



三重県

たまきちよう  
玉城町



たままるくん



辻村 修一 玉城町長

【だれもが安心して、

元気に暮らせるまち】

三重県度会郡（わたらいぐん）玉城町は県南部伊勢市に隣接し、古来より伊勢神宮の参拝客が集まる宿場町として、また、世界遺産熊野古道 outlet（いでたち）の地としてにぎわってききました。町の中心には、織田信長の次男信雄（のぶかつ）によって築城されたとされる田丸城址（県指定文化財）があり、「続日本100名城」にも選ばれています。起伏も穏やかで地理的に恵まれた環境にあり、町の中心から半径6キロメートル以内に約1万5千人が暮らすコンパクトなまちとなっています。



田丸城址と桜

1,500ヘクタールの優良農地を活かした多彩な農業を中心に、企業誘致の推進により、パナソニック、京セラドキュメントソリューションズ、美和ロックをはじめ、多くの優良企業に支えられ、県内では珍しい人口減少の少ないまちとなっています。

【自衛隊との関わり】

まちの政策では、待機児童ゼロ、マイ保健師、子ども医療費の無償化などの子育て分野、理科実験教員の配置やレゴブロックを活用した英語学習などの教育分野、ICTを活用したオンラインマンダバスや地域で体操を行う健康づくり分野、クシットカードによる公金収納など暮らしに根差したバランスの取れた政策を進めることに注力しています。また、今年6月には「ゼロカーボンシティ」を宣言し、現在、脱炭素社会の実現に向けて取り組みを進めています。

昨年の東海地域の「町の住みこころランキング」（大東建託（株）賃貸未来研究所）では、県内2位という評価が出ており、引き続き「ずっと もっと 笑顔で暮らせるまち」を目指し、取り組みを進めていきます。

町内にはヘリコプターの離発着を訓練する玉城訓練場があります。また、隣接する伊勢市にある航空学校本校を併設した陸上自衛隊明野駐屯地とも関わりが深く、例年開催される航空祭や町主催イベントへの参加など、以前から地域に根差し、地域住民に親しまれる存在となっています。

最近では若手職員の宿泊研修も快く受諾して頂いており、町にとっても力強い存在となっています。

防衛の一端を担う高度な技術

東海三県の防衛生産・技術基盤

豊和工業株式会社

豊和工業株式会社の歴史

豊和工業株式会社（愛知県清須市）は、明治40年2月に、繊維機械の国産化・量産化を目指し、豊田式織機株式会社として創業しました。

昭和7年より、織機製造で培った鋳物製造技術を用い陸軍造兵廠名古屋工廠が発注した手りゅう弾の弾体の製造を始めました。

その後、工作機械、鋳鋼なども手掛けはじめ、戦時中は、99式小銃のほか、火砲、航空機部品などを製造していました。戦後は繊維機械、工作機械などの製造をいち早く再開させるとともに、小銃や猟銃の開発・製造に取り組みました。

また、時代の多様なニーズに  
 応えるべく新分野に積極的に取  
 り組み、電子機械、空圧機器



豊和工業株式会社（本社）

清掃車両、金属製建具といった幅広い分野で事業を展開しています。



76mm発煙弾発射機



76mm発煙弾

76mm発煙弾発射機

76mm発煙弾発射機は、76mm発煙弾を発射するため10式戦車、水陸両用車などに装備されています。

過去（令和2年夏号）の記事では、防衛生産・技術基盤として同社が89式小銃から20式小銃への更新を機に「小銃の製造技術」と「小銃の『命』を創り出す匠の技」への取り組みを紹介しましたが、今回は同社で製造しているその他の火器の一部を紹介いたします。

120mm迫撃砲RT

120mm迫撃砲RTは、107mm迫撃砲の後継であり、長射程化、対軽装甲弾の導入、車輪による機動性の向上などの特徴を有しています。



120mm迫撃砲RT

81mm迫撃砲L16

81mm迫撃砲L16もまた、64式81mm迫撃砲の後継であり、長射程化、軽量化（重量約52kg↓約38kg）が図られています。



81mm迫撃砲L16

儀じょう銃

国賓などが、来日された場合などに行う特別儀じょう銃に使用する儀じょう銃も同社により国産化されました。



上：儀じょう隊 / 下：儀じょう銃

防衛生産・技術

最後に、豊和工業株式会社は、100年を超える歴史の中で技術とノウハウを蓄積してきました。

そして、創業時より変わらない絶えず変革に取り組む姿勢で、小火器などの安定した製造と供給を継続することで、防衛生産・技術の一翼を担っています。



# 防衛省職員採用業務のご紹介

東海防衛支局は、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験の合格者から職員を採用しています。

大卒程度



防衛省職員業務概要説明

東海防衛支局では、国家公務員採用一般職試験（大卒・高卒程度）各合格者の中から職員（事務官及び技官）を毎年採用しており、採用に向けて様々な活動を行っています。

## 【大卒程度採用活動】

**防衛省業務セミナー／現場説明会**  
 国家公務員採用一般職試験（大卒程度）に申し込みをされた方を対象として、令和4年6月から7月にかけて東海防衛支局以外の防衛省の機関（陸上自衛隊など）と合同で防衛省業務セミナー及び現場説明会を開催し、6日間で約60名が参加しました。

業務セミナーでは、業務の概要、人事管理の特色、給与などの処遇に関する説明のほか、若手職員との懇談を実施しました。

また、陸上自衛隊守山駐屯地や航空自衛隊岐阜基地において現場説明会を実施し、実際に防衛省で勤務する環境をご覧いただきました。

## 【高卒程度採用活動】

### 防衛省機関訪問／業務説明会

国家公務員採用一般職試験

高卒程度



防衛省職員業務概要説明

（高卒程度）に申し込みをされた方を対象として、10月に東海防衛支局以外の防衛省の機関と合同で業務説明会を開催し、6日間で約80名が参加しました。業務説明会では、業務の概要、人事管理の特色、給与などの処遇について説明し、参加者が関心をもちた機関と面談を行いました。面談では、勤務環境や福利厚生について詳しく解説を深めていただきました。

高卒程度



防衛省各機関職員との質疑応答

発行：東海防衛支局広報誌編集委員会  
 〒460-0001

愛知県名古屋市中区三の丸2-2-1  
 名古屋合同庁舎第1号館

電話052-952-8212

2022年（令和4年）冬号

（通巻第53号）

<https://www.mod.go.jp/rdb/tokai/>



大卒程度



若手職員との懇談

## 新着任者紹介

装備課長

1等空佐 近藤 庸二  
 令和4年12月1日付

